

# びわこボートレース場中期経営計画2020(素案) 概要

総務・企画常任委員会 資料5-1  
令和元年(2019年)12月13日  
総務部 事業課

## はじめに

### 1 策定趣旨

- 平成27年3月、当場の経営を安定的、継続的に行い、一般会計繰出金を確保することにより、県財政に貢献するという公営競技の使命を果たし続けることを目的とし、現行計画である「びわこボートレース場中期経営計画」(平成27年度～平成31年度)を策定した。
- 引き続き将来に向けての中期的な目標、方針を明らかにし、今後の当場の経営、更には県財政や地域への貢献を安定的に行うため、本計画を策定する。

### 2 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

## 第1章 びわこボートの現状

### 1 売上・財務状況

- 売上はこの数年で急回復 (H26 290億円 → H30 382億円)
  - 電話投票の売上が大幅に増加 (H26 88億円 → H30 179億円)
  - 一方、本場の売上は減少 (H26 51億円 → H30 39億円)
- 依然として約37億円の起債残高(平成30年度末時点)がある。
  - 他場と比較すると総資産に占める負債の割合が高い。

### 2 前回計画時点(平成26年度)からの状況の変化

- 業界の取組による電話投票の急伸(電投会員数: H26 41万人 → H30 80万人)
- 本場来場者の減少(来場者数: H26 28万人 → H30 22万人)
- 発売体制の縮小による遊休スペースの増加(現スタンド 3階投票所)  
業界では地域貢献等への活用を指向(ボートレース場のパーク化)
- 外向発売所「レイクルびわこ」開設(平成28年10月)
  - 効率的な場外発売が実現、発売日数も徐々に拡大
  - 場外発売売上は他場と比較して低水準

## 第2章 第1期計画期間の総括

第1期中期目標「計画期間中の5年間で4億円の繰出金を確保」  
⇒ 平成30年度までの4年間で13億円の繰出を達成

### 1 売上の向上

電投拡大のための広告等強化、本場ツアー誘致、  
発売日数拡大

### 2 効率的な開催運営

レイクルびわこ開設、来場者数に応じた発売体制の構築

### 3 基金の積立

H26年度末 約100万円 → H30年度末 約12億円

### 4 安全で快適な施設管理

着実な設備更新・修繕は実施も、旧スタンド活用や現  
行スタンドの利便性は、依然として多くの課題を抱え  
る。

### 5 地方公営企業法の適用

H29より一部適用し企業会計を導入

## 第3章 目指すべき姿 → 第4章 各種施策

### 1 多様なコンテンツと質の高いサービスの提供

#### (1) キッズやファミリーも含めた幅広い層が楽しめるコンテンツを提供します。

- 旧スタンドの取壊しと跡地活用
  - 速やかに取壊し、当面の間は芝生広場等のゆったりとしたスペースとして活用
  - 跡地利用については、ファンの利便性向上等を念頭に、慎重に検討
- 現スタンド遊休スペースの活用(入場口等の活性化を含む)
  - 様々なアイデアの試行を行うスペースとしての位置づけ

(ex) ファミリー層向けのスペース設置、教育・体験イベントの催行等

#### (2) 来場者が快適に過ごせるよう、環境を整備します。

- 指定席の改善(グループ席やプレミアムシートの設置)
- 現スタンドの適切な管理と長寿命化

#### (3) 魅力的なボートレースを開催し、情報を積極的に発信します。

- ビッグレースの誘致
- 電話投票を中心とした売上向上
- 勝客に向けた情報発信の強化(HP、SNSの活用強化等)

## 2 健全な経営の確保

#### (1) 引き続きコンパクトで効率的な運営を行います。

- 場間場外発売およびナイター発売日数の拡大
- レイクルびわこの利便性向上

#### (2) 負債を圧縮し、経営の安全性を高めます。

- 起債残高の早期償還

#### (3) 人材と組織の強化を行います。

- 専門知識を有した職員の育成(各種研修会への参加、OJTの強化等)
- 組織の強化(PTの設置など)

## 第5章 中期目標および収支計画

### 中期目標

#### (1) 収支目標(収支計画)

単位: 百万円

	R2	R3	R4	R5	R6
売上	38,200	38,000	34,900	35,400	35,900
繰出金	300	300	300	300	300
利益	87	475	-123	510	685

※R2 GIヤングダービー、R3 GI近畿地区戦を開催予定

※R4 旧スタンド解体費 516百万円を見込んでおり、基金で同額を充当する予定

#### (2) 本場来場者数 令和6年度 年間22万人